

「LIN-Q EX」FW・HY用が登場 逆輸入ブランド ユーザーのあなたへ!

最高の「Quality(品質)」、「Performance(性能)」、「Feel(感性)」、
を提供し続ける「ATTAS(アッタス)」シリーズのUSTマミヤは、
昨秋、新たなブランド「LIN-Q(リンク)」を国内初投入。
そして今春、FW・ハイブリッド(HY)専用の「LIN-Q EX FW/HY」が登場した。

PHOTO/Tomoya Nomura, Tadashi Anezaki, Blue Sky Photos

PGAツアーで話題の シャフトが日本に逆輸入

2009年に初代が登場して以来、国内ツアーはもちろん、PGAツアーや欧州ツアーなど、世界中のトーナメントで使用者が活躍してきた「アッタス」。その14代目となる最新モデル「The ATTAS V2」は昨年の国内女子ツアーで原英莉花が日本女子オープン、稲見萌寧がTOTOジャンクレーション、西郷真央が伊藤園レディスで勝利を挙げている。

そのアッタスを手掛けるUSTマミヤが、昨秋、新たに国内に投入したシャフトブランドが「LI

NQ(リンク)」。初代アッタスも国内デビュー前にPGAツアーでひと足早くお目見えしていたように、「リンク」も2019年からPGAツアー用に開発された、いわば「逆輸入」ブランド。昨シーズンはコリー・コナーズがドライバーに挿してパレロテキサスオープンで優勝、リッキー・ファウラーは5Wに使用しロケットモーゲジクラシックを制している。

「ホワイト」のラインナップがある「リンク」だが、基本的にどれもPGAツアーで求められる「低打ち出し・低スピンの」に加え、「高い操作性」が高く評価されている。そして日本導入第1弾は「リンクブルーEX」。「分厚いインパクト」と「安定感」でぶっ叩ける！「振り抜ける！」と謳っているが、アメリカのモデルに最新素材を加え、改良されたプレミアムシャフトになっている。まずは、90度に編み込まれたカーボン繊維にナノアロイ®技術適用樹脂システムを配合した「Qプライコア」テクノロジー。これを高強度・高弾性で超軽量の「トレカ®M40X」や「ト



2019年からPGAツアー用に開発された「リンク」。リッキー・ファウラーは5Wに入れて使用中。「リンクブルーEX」は女子ツアーでリ・ハナが1W、3W、5Wに挿して三菱電機レディスを制した



レカ®T1100G」と独自の手法で組み合わせることで飛距離性能と方向性を両立。ロケットや航空機にも用いられている「トレカ®T1100G」をフルレンジからインパクトまで横方向のブレをなくして安定感を生み出す。さらに高強度・高弾性の「トレカ®M40X」を先端に配置し、インパクトの押し感が強くなりエネルギーを増幅。振り抜きの部分でも全長に使われている「T1100G」が効いて方向性を高めてくれるので、叩きにいても曲がらない。全体のフイーリングが非常によく、「振り心地と弾道がリンク」する中元調

子になっている。10月の樋口久子三菱電機レディスではリ・ハナがこのシャフトを使い初優勝を挙げた。

「リンク」第2弾は FW・HY用

そして今春、新たに登場した「リンク」シリーズの第2弾が、「リンクEX」のフェアウェイウッド用「FW」とハイブリッド用

「HY」。1W用の「リンクブルーEX」にも使われている「Qプライコア」テクノロジーと「トレカ®M40X」を採用。叩いても曲がらないシャフトという特徴は1W用の「リンクブルーEX」と同じだ。

「アッタス」シリーズにはFW・HY用のシャフトとして「MB/FW/HY」と「EE/EZ」があるが、「MB/FW」はクセのない全体しなりでコントロール性能とスピード感を両立、「MB/HY」は先端剛性を保ちつつ強い弾きを生み出し、高弾道と振り抜きの良さを実現したシャフト。「E

E」は手元部の剛性を高め、中間部と先端部をしなやかにすることで飛距離を生み出すのに対し、「EZ」は全体にしなり感のあるテキスト。どれも、幅広い層が使える設定になっている。

対して「リンクEXFW/HY」は、トルクが少なく、パワーヒッターが思い切り叩いても方向性がよく左に行きにくいことが持ち味で、明らかに「アッタス」よりもしつかりした味付けになっている。つまり「アッタス」ではカバーし切れなかったヘッドスピードの速いプロやアスリート志向のゴルファーをターゲットにしているのだ。また、最新のFW・HYはやさしさを重視した大型ヘッドも増えているが、「リンクEXFW/HY」ならヘッドを選ばず、思い切り振り切って狙い通りに飛ばしたいハードヒッターにマッチするだろう。

これで1Wに加えFW・HYをカバーした「リンク」。「アッタス」シリーズのようにドライバーからアイアンまで、すべてのクラブに対応するブランドに「リンク」が育っていくのか、今後の展開が楽しみだ。